

16日の衆院解散で日本は総選挙に向けて動き出した。欧米アジアの有識者は、日本の経済や外交関係の行方を左右する選挙後の政権の枠組みに強い関心を示している。(1面参照)

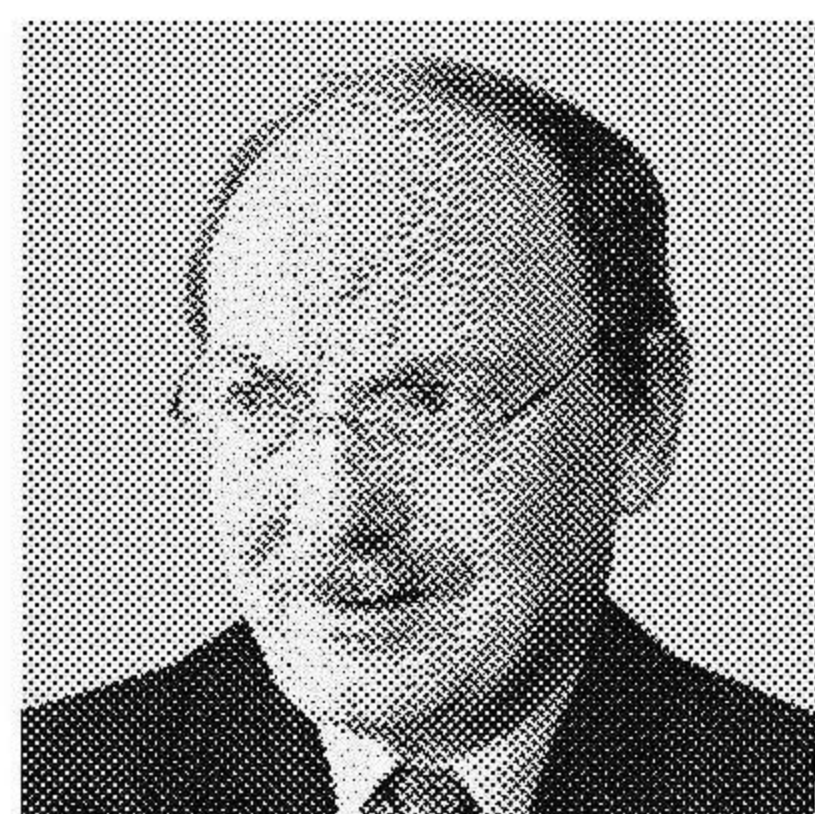
衆院解散 各国識者に聞く

■中国

王新生・北京大学教授
民主党政権は終わる。き不安定だ。

ただ、自民党が過半数を取るかどうかは分からない。日本の政治は引き続き不安定だ。

習体制と関係改善を



ケント・カルダー米ジョ

ンズ・ホプキンス大学ライ
シャワーセンター東アジア
研究所長 ワシントンから
みていると中国や韓国を含
め世界はものすごい速さで
変わっているが、日本は適
応できていない。日本の官
僚も政治が不安定になるこ

外交戦略 土台作りを 日本のTPP参加重要

とを恐れて身動きがとれないことになるだろう。た米国も日本政府のTPP参
い。日本の将来に向け何が
重要な政策かを考え決断で
明党の関係は必ずしもつま
きる土台作りのための解散
総選挙だ。

米国ではオバマ大統領が
再選された。米国の次の4
年は、日本にとっても政治
安定のためにどんな計画を
つくるかという点で大事な
時期になる。どんな政権の
枠組みがいいかは分からな
いが、次期政権ではおそら
く自民党と公明党が中心に
P参加を推進してほしい。

言うまでもなく環太平洋
経済連携協定(TPP)が
アジア諸国との関係が重要。
そうした外交戦略の土台を
作る時期であり、世界が動
いているときに、日本が立
ち止まれないなかで実施さ
れる選挙であることを認識
してほしい。

かつて近衛文麿元首相

は「国民政府を相手にせ
ず」といったが、最近の
中国政府は「野田政権は
相手にせず」という態度
だった。中国の共産党大
会が終わり、日本でも新

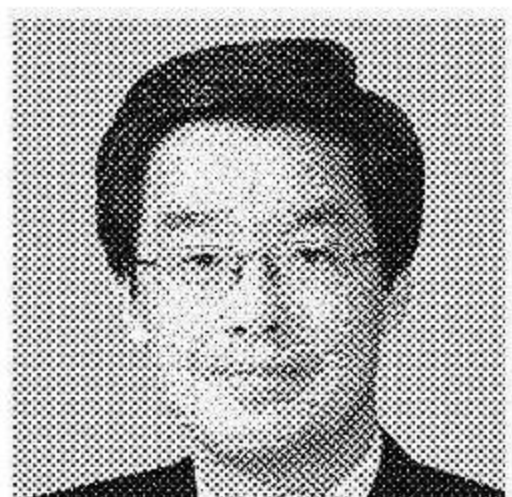
しい政権ができれば日中
関係は少しは回復するだ
ろう。日中が対立を続け
ることは誰も利すること
がない。

中国の新指導者、習近
平・共産党総書記が日本
に対峙し特別に強硬だと
思わない。最近の釣魚島
(沖縄県・尖閣諸島の中国
名)を巡る発言が強いと
いっても中央指導者は誰
であってもそういう態度
を取らざるを得ない。

安定政権、期待できず

■韓国

朴喆熙(パク・チヨル



ヒ)ソウル
大国際大学
院教授 野
田佳彦首相

は「近く解散する」とい
う約束を守るという意味
で常識的な判断をしたの
ではないか。延期しても

内閣支持率は上がらな
い。まだ第三極の選挙準
備ができておらず、解散
が有利だと考えたのだろ
う。

過半数確保は民主党は
不可能に近く、自民党も
難しい。安定政権が期待
しにくいことは韓日関係
にも不安材料になる。李
明博(イ・ミョンバク)

政権になって日本の首相
は次で6人目だ。

選挙後の政権は今より
も右寄りかもしれない。

自民党が第1党でも連立
相手が公明党ならいい
が、維新の会や太陽の党
と連携すれば、次の政権
の最初の時期に韓日はギ
クシヤクする可能性がある

る。韓国も来月19日に大
統領選がある。互いに刺
激しなければ、ある程度
は冷静に対応できる。

安倍氏は現実的 関係改善を継続

■ロシア

ドミトリー・ストレリ

ツォフ・モスクワ国立国
際関係大学東洋学科主任
教授 次期首相に有力な



自民党の安
倍晋三総裁
は、アジア
外交を活発

にし、新体制が始まった
中国との関係の安定に取
り組むだろう。尖閣諸島
問題をこれ以上、先鋭化
させる意味は双方にな
ない。北朝鮮問題では(同
国とのパイプがある)ロ
シアとの協力を活発にす
る可能性がある。

日欧の関係 懸案なく安定

■フランス

ギブール・ドラモット



仏国立東洋
言語大学准
教授 日本
の衆院は任

期が4年あるにもかかわ
らず、自民党や民主党の
党首は途中で代わる。だ
から首相が頻繁に交代
し、政治が安定しない。
選挙結果がアジアやロシ